

「町ぐるみみんな白岡」だより



第15号 2026.3.31 発行

第2回トークフォークダンス開催!



トークフォークダンスとは、フォークダンスのように輪になって相手を変えながら、1つのお題について目の前の相手と1対1で語り合うものです。昨年、「町ぐるみみんな白岡」初の試みとして菁莪中学校で開催されましたが、参加者からの大好評を受け、今年も第2回トークフォークダンスが、令和8年3月4日(水)同校で開催され、菁莪中学校の3年生36人と大人48人が参加しました。

最初は緊張していた様子でしたが、次々と相手が変わります。あっという間に時間が過ぎてしまうので、とにかく夢中で話をしている姿が印象的で、時間が経つにつれて大変な盛り上がりを見せました。中学生にとっても大人にとってもそれぞれに新たな発見があり、貴重な時間になりました。



参加者の声

- これまで中学生とお話しすることがなかったのですが、皆さん家族への感謝、大切さをお持ちになっていて、命の大切さを家庭で学んでいると感じました。(大人)
- どのお子さんもかわいかったです。小中と通じて気心知れてる友人、大人がいることに誇りを持っていると言った生徒さんにとっても感心しました。(大人)
- 地域の方といろいろな分野のお話をするのができて楽しかったです。みんな個性や人生の色が様々で、人生っておもしろいと思いました。(中学生)
- 普段とは違う考え方をもった人と関わることができ、考え方が広まったなと感じました。(中学生)

ひこべえの森 冬のつどい

裏方編



去る12月13日(土)、今年もひこべえの森(彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森)で「冬のつどい」が開催されました。今号では、従来とは趣向を変え、毎回自然観察会と森の清掃活動後にいただく『おにぎりとお肉汁』の炊き出しボランティアの方々にお話を伺いました。

当日は、野口会長をはじめ10名が、「冬のつどい」開始時刻に合わせ、はぴすしらおかの調理室で炊き出しを行いました。まず、炊飯器3機で2回、お米を炊きます。そしてお米が炊き上がるまでの時間で、大きな鍋3つ分の肉汁を作ります。大変な作業ですが、皆さん慣れた手つきで調理をしていきます。ほどなくお米が炊き上がり、約300個のおにぎりを手分けして握って出来上がりです。「冬のつどい」の活動終わりに合わせるように会場へお届けし、参加者全員で美味しくいただきました。現地スタッフ同様、炊き出しボランティアの方々を支えられてこの活動が続けられていることに感謝いたします。

参加者の声

- もう6回ほど参加しています。ひこべえの森を見つけたときは嬉しく、万両を見た時の感動が忘れられません。今後も続けていきたいと思えます。
- 初めて参加させていただきました。ボランティアは大好きで、子どもたちも喜んでくれているし、多世代間交流ができるのが魅力ですね。また参加します。





今回は、放課後及び学校の休業日に小学校等の施設を使用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、子どもたちに学習活動や様々な体験・交流活動の機会を提供することを目的に実施する事業である「放課後子ども教室」について、本市の取り組みを各校のスタッフに取材してきました。

どのような活動なのでしょう？

市内の小学校で、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、令和三年度にスタートし、令和七年度には篠津・菁莪・白岡東の三校で開催されるようになりました。地域の方々の参画・協力を得て年間十六回程度実施されています。将来を担う子どもたちが、楽しみながら多くの地域の人と関わり、豊かな人間性や社会性を育てるような多彩なプログラムが用意されています。

どのようなプログラムがありますか？

多種多様なプログラムが行われています。今年度は、牛乳パックを使った「ぶんぶんごま作り」(篠津小)、フィンランドで開発された「モルック競技」(菁莪小)、わびさびが体験できる「茶道教室」(白岡東小)などが実施されました。



実施にあたり気を付けていることは？



プログラムについては、他校での様子を見学したり、人気の高かったものやスタッフの得意分野を取り入れたり、皆で話し合って決定しています。子どもたちの安全が一番なので、終了後の保護者をお迎えをお願いしたり、スタッフが学童への引率をしたりしています。

今後の活動に向けて

スタッフの人数を揃えるのが大変なので、是非多くの皆様の参加をお待ちしています。「放課後子ども教室」は、家庭・地域・学校が連携して子どもたちを見守り、育てていく取組みのひとつです。子どもたちのため、今後、増々充実していくことを願っています。

《 私たちは「町ぐるみん白岡」の活動を応援しています 》

株式会社サンワ環境開発
白岡蓮田環境事業協同組合
白岡ライオンズクラブ
大成ラミック株式会社
テクノパーク白岡協同組合
株式会社トムス
有限会社西野商事
日産化学株式会社
株式会社ハイグレード

(敬称略、五十音順)

発行：「町ぐるみん白岡」
編集：「町ぐるみん白岡」広報委員会
問合せ：白岡市教育委員会生涯学習課
0480-92-1111 内線 3643

白岡のかがやきひと

渋谷 芳江さん

「こんなことをしたら楽しい」「みんなが喜んでくれる」「自分も楽しい」——そんな思いを共有しながら、みんなで作っていき『マルシェ』。マチナカマルシェから始まり、ヒルズマルシェ、マチツククエストが誕生し、それぞれが「ファミリー向け」、「地域と子ども」、「子どもを対象」と、独自のコンセプトを持ちながら協力して活動しています。

その中で今回は、ヒルズマルシェを主催する渋谷芳江さんに、熱い想いを語っていただきました。

「始めるきっかけとなったのは、千駄野で開催されたマチナカマルシェでお手伝いをしたとき」、「新白岡でもマルシェがあったら地域の人たちが楽しめるのではないか」と思ったことからです。

ヒルズマルシェでは毎回テーマを変えて開催しています。地域の人も主催者も同じ場所で飽きずに楽しめるように、そして新しい気づきや出会いがあることを願っているからです。これからも、いろいろな体験を通じて思い出をつくれるマルシェを目指しています。

目標としては、若い世代に白岡の良さを知ってもらい、この地域を活性化していくことです。そのためには、地域との関わりを大切にしていけることが欠かせません。マルシェに足を運んでもらうことで、白岡の良さに気づききっかけになればと願っています。」

これからの『マルシェ』がますます楽しみですね。



渋谷 芳江さん